

船坂新聞

ホームページ <http://homepage3.nifty.com/nishinomiya-funasaki/>

2010.05.09 第20号

発行：船坂新聞俱楽部

問い合わせメールアドレス funasaki.moriagetai@gmail.com



久しぶりの小さな音楽会
久しぶりの小さな音楽会

美しいフルートの夕べ 6月12日（土）

久しぶりに、第5回小さな音楽会in船坂が開催されます。今回は、大塚由貴さんの美しいフルートの調べをお楽しみいただきます。

大塚さんは、大阪音楽大を卒業後、米インディアナ大学に留学、国内・米国のフルートコンクールで優勝されるなど各地の演奏会で活躍されるかたわら、後進の指導にも力を入れておられます。「からたちの花」

「七つの子」や映画音楽など親しみやすい曲目を用意して、初夏の夕暮れ時、船坂の皆さんとの出会いを楽しみにしておられます。

ピアノ伴奏は、県立芸文センター大ホールでワンコインコンサートに出演されるなど国内外で活躍中の大阪音楽大助教・神戸女学院大講師をされている藤井快哉(よしき)さんにお願いしています。

お二人とも船坂の里山が大好きで、船坂の皆さんため、特別に演奏をしに来てくださいます。

多数のみなさんのご来場をお待ちしております。



(昨年2月、大阪南港サンセットホールで演奏中の二人)

とき 6月12日（土）午後6時30分から約1時間

ところ カフェ・ベルグ

定員 60名

入場整理券（ワンドリンク付）

一般 1,000円 高校生以下・船坂在住65歳以上は500円

*入場整理券は5月10日から販売します。下記企画委員から購入してください。

池田峯代 亥角さくら 亥角洋子 黒木富美子 坂口洋子 鮫貝季子 塩貝幸穂

成瀬嘉考 西口敦子 平井ちゑ子 楠木良明

[問合先] 塩貝904-0112 池田904-3467

主催 小さな音楽会in船坂

後援 船坂自治会 船坂老人クラブ 船坂子ども会 スポーツクラブ21船坂



株式会社 古材問屋

651-1423 兵庫県西宮市山口町船坂280
Tel:078-903-5314 Fax:078-903-5319
<http://www.kozaidonya.com>



PENNY LANE
Light Music Classic Rock & Pop
ガレージ&カフェ ペニーレーン
〒651-1423 西宮市山口町船坂字北谷206
TEL (078) 904-0617 FAX (078) 907-2340
<http://www.penny-lane.jp/>



株式会社 キューコーポレーション
〒665-0051 宝塚市高司1-1-16ホワイトプラザ2F
TEL: 0797-73-0041 MOBILE: 090-3999-0041
FAX: 0797-73-4100 E-mail:cue41@nifty.com
代表取締役 植松 稔晶



船坂小廃校後

山口小学校での1ヶ月

坂本明美

子どもたちが山口小学校へ通い始め、早1ヶ月が過ぎました。最初は緊張した顔でバスに乗って通っていた子どもたちも少し慣れてきて笑顔がみられるようになってきました。

朝の登校時、バスを待っている間に子どもたちは色々な話をしてくれます。「友達いっぱいできたよ」という子、「勉強がわからへんからやっぱり船坂小学校の方がいいな」という子・・・。いろんな思いを感じながら子どもたちなりに山口小学校に馴染んでいくという思いが伝わってきます。



先日、初めての参観日があり、学校での子どもの様子を見てきました。私の子どもは6年生なので6年生の子どもの姿しか見られなかったのですが、どの子も目を輝かせ、とても生き生きしていたように思いました。今まで船坂小学校という小さな世界で生活していた子どもたちですが、やはりいろんな友達と出会い、その中でたくさんの経験をしていくことが大切なんだなと感じました

これから学校生活に慣れてくると、疲れが出てきたり学校へ行きたくないという子どもが出てきたりと新たな問題も出てくるかもしれません。そういう子どもたちと一緒にがんばっていきたいと思います。そして、たくさんの子どもたちが“山口小学校へ行って良かったな”と思える日が来ることを願っています。

希望に燃え「未来に生きる」まなびの里 統合新校 山口小学校

山口小学校教頭（前船坂小学校教頭） 村尾俊之

平成22年4月1日、西宮市立山口小学校が統合新校としてスタートし、1ヶ月が経過いたしました。お蔭様で子どもたちは、仲良く元気に楽しい学校生活を送っています。

4月7日は入校式、4月8日には統合して初めての入学式を行いました。校内の桜もこれを見ていたかのように一斉に咲き、暖かい春の日差しと共に山口小学校の門出を祝ってくれました。

船坂地域の子どもたちは、しばらくは緊張して疲れた様子もありましたが、大きな集団の中で躊躇せず、自分と気の会う友だちをつくり、授業中は大きな声で発表しています。集団の中での学びあいや切磋琢磨する心も育ちつつあります。

登下校では、学校職員・PTA・東海警備の上中さん・市教委・教職員に見守られながら、バス通学をしています。信号待ちで乗り遅れたり、「次止まります」のボタンを押してしまったり、バスのお客さんにしかれたり、山口児童センターにご迷惑をおかけしたりと、様々な問題はありますが、保護者や地域の皆様と常に連携してその都度すばやく対応しています。

山口センターと学校の間は、登校班での集団登校です。これも初めての経験ですが、班長さんを中心に列を守ってしっかりと登下校しています。

これまで多くの方のご意見やご要望を取り入れながら、一つの学校として生まれ変わるべき準備してまいりました。今日までご協力いただきました保護者・地域の皆様には厚く御礼申し上げます

今後も、微力ながら二つの学校の素晴らしい伝統や文化を継承融合しつつ、皆様方のご指導ご鞭撻をもとに、より一層魅力のある学校づくりに全力で取り組んでいく所存でございます。

(船坂から山口小学校へ通う児童数は、地域9人・善照学園37人、計46人)

5月コンサート終了
6月コンサート準備中

要：電話予約

珈琲
ベルク

Tel:078-903-1172

創業昭和八年
北福豊店
西宮市山口町船坂702

TEL 078-904-2660

FUMASAKA
西洋料理/船坂

西宮市山口町船坂字北谷216番地
Tel/Fax 078-903-1158

船坂小学校跡

西宮市が活用案を提示

4月26日、地元代表（自治会3役、子供会会長、SC21会長、芸術祭事務局長）と市代表による船坂小学校跡検討会の席上、西宮市から市内部検討委員会で担当者の意見として出された活用案がたたき台として提示されました。活用案のキーワードとしては、「地域活性、他地域との交流、子ども、地産農業、文化芸術、宿泊施設、さくらやまなみバス」などがあげられています。

これは、以前、船坂自治会から「船坂地域にふさわしい社会教育・文化的な施設に」との要望に対する活用案として示されたものです。

今後、旧船坂小学校施設の活用案については、船坂地域の各種団体長の意見を聞きながら、実現・持続が可能な活用方法に向けて、地元代表と市代表による検討会で協議が進められる予定です。

旧船坂小学校施設の再活用の最終決定は、西宮市長が条例案を西宮市議会に提出し可決されてはじめて「西宮市立〇〇〇〇〇」として活用されることとなる予定です。市と地元の協議を経て、西宮市長が条例案を作成することとなりますが、現時点では、いつ市議会に条例案を提出されるかは未定です。

当面は、地域に開放



旧船坂小学校施設の再活用が決まるまでの間は、船坂地域に開放されます。利用できる施設は、体育館、運動場、ランチルーム棟です。

利用を希望される団体等は、船坂自治会長に申し出てください。（スポーツクラブ21船坂に加盟しているスポーツ団体は、スポーツクラブ21船坂で利用日時を調整します。）

なお、西宮市は、毎日午後3時から5時までの2時間、警備員を配置していますが、親子などの個人が運動場を公園的に利用することは認めないとのことです。

船坂老人クラブ

90歳以上が9人！

4月28日、船坂老人クラブ総会が開催され、席上、数え年90歳以上の次の会員さんに記念品が贈呈されました。おめでとうございます。

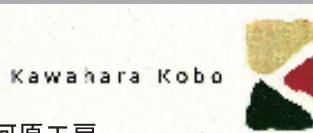
尾崎 春治 (99)	坂口八穂子 (93)
坂口 露子 (95)	安藤きみこ (93)
福田 道子 (95)	野口 たか (92)
小橋みさを (94)	亥角小志津 (90)
続麻アキコ (90)	



知る人ぞ知る隠れ家レストラン



癒しの森のガーデンカフェレストラン Alice
〒651-1423 西宮市山口町船坂1626
TEL 078 (904) 2603
バースデーケーキをお宅までお届けします。
(山口町内 無料配達いたします。)



株式会社河原工房
〒569-0823 大阪府高槻市芝生町3-2-1
TEL 072-677-4586 Fax 072-677-4587
URL <http://www.omoikatachini.jp>
e-mail info@omoikatachini.jp



Kobako Vege
こばこべジ

〒662-0978 西宮市産所町3-24
OKKO陶芸工房2F
TEL&FAX 0798-26-3618
e-mail kobako.design831@gmail.com

有馬街道ぶらり探訪 その4

与志郎

法師姿の弘法大師が、袖をまくって手をすすいでいます。
多くに美女にかしづかれた淀君が、きれいな掌で清水をくって飲んでいます。
その淀君を派手な衣装を着た秀吉が眺めています。

このような光景を想像するだけでも楽しいではありませんか。これが歴史のロマンというものでしょう。

この「清水」は、昔、飲料水でもあると同時に生活水でもありました。ビエンナーレではその歴史を作家の吉本直子さんが、“Eat and”とテーマして洗濯物を干しました(写真)。舟坂東口のバス停を降り、土手を少し下ったところに、その清水はあります。しかし、地震後、清水がほとんど湧かなくなつたのは残念です。

ここでしばらく県道51号線から離れて、集落内の街道を歩いてみみましょう。

その前に、少し街道名についてふれておきましょう。

今夏刊行予定の「山口町史」では、“有馬街道”は、有馬から山口を経て三田へ通ずる道(別名三田街道)で、蓬莱峠経由の道は“湯山街道(別名生瀬街道)”としています。有馬から唐櫃経由平野(神戸)への道も“有馬街道”と呼ばれています。有馬から三木への道も“湯山街道”と呼ばれています。山口から生瀬への道は“大阪街道”と呼ばれ、その一部が“くらやみ街道”と呼ばれていたようです。木の元周辺ではないかと推測するのですが、ひょっとしたら怖い人が出没したのではないかでしょうか。

有名な場所に通ずる道は、その地名を冠する街道として一般に呼ばれることが多いようです。街道は、江戸時代に整備されますが、秀吉が天下統一をした時に、各大名に正確な地図の製作を命じています。それまでの地図は、全くでたらめでした。攻めてくる敵が困り、こちらが守りやすいような地図であったからです。

慶長10年の古地図が攝津の最も古い地図といわれています。この地図では、当地は「舟坂村」と「東舟坂村」の二つの村として表記されています。江戸から各地に通じた五街道のほかは、脇往還と呼ばっていました。

ちょっと休みすぎました。先を急ぎましょう。
(以下次号) 続く)



セブン-イレブン
西宮船坂店

〒651-1423 西宮市山口町船坂419
電話 078(903)1090

Daddys Bakery
〒651-1423 西宮市山口町船坂90
TEL : 078-907-3920

株式会社 加登

〒651-1423 西宮市山口町船坂710-4
TEL:078(904) 3843 FAX:078(904) 0169
<http://www.forever-kato.co.jp>

編集後記

創刊20号 みなさんご愛読ありがとうございます

平成20年（2008年）10月に創刊以来、今号で20号を迎えることが出来ました。船坂自治会会員、自治会に加入しておられない方々、都会から農園を楽しみに来ておられる方々、そして施設で働いておられる皆様にご愛読いただいていることと喜んでおります。毎月390部発行しています。

発刊の動機は、“船坂でどんなことが行われているのか共通の情報が得られない”ので、しんどいけど月刊新聞を出そうか、というところから始めたのが船坂新聞です。

当初4人だった編集委員も現在12名となり、毎月、船坂のいろんな情報を伝えすることができるようになりました。今春、兵庫県が発行した分厚い本「地域づくり活動ヒント集」にも、情報活動モデルの一つとして船坂新聞が紹介されました。またホームページのカウントも5000回を超みました。

12名の編集委員全員を紹介します。あなたも編集委員になって新聞作り一緒に楽しめませんか？



(上の写真左から)

- 亥角さくら 高校生の母親。芸術祭推進委員。事務処理は抜群。
- 池田 壱和 船坂在住38年。芸術祭事務局長。船坂大好き人間。新聞編集長。
- 平井 雅博 船坂で誕生。自治会会計。船坂紹介ホームページの管理者。
- 中西 学 船坂在住13年。自治会隣保長。仕事の合間に縫って編集。
- 小林ひとみ 甲子園在住。船坂の無農薬野菜を市街地で販売。mixi船坂盛り上げ隊副隊長。
- 岡田安紀子 津門在住。陶芸家。工務店社長の新妻。mixi船坂盛り上げ隊隊長。

(下の写真左から)

- 橋本 悅夫 船坂で誕生。公務員の仕事が多忙の中、少しでも手伝いたい気持ちで参加。
- 成瀬 嘉考 船坂在住18年。芸術祭会場部長。時間があれば船坂のあちこちを歩いてる。
- 塩貝 聖子 船坂在住3年。育児と仕事の合間に縫って編集。編集技術はプロ級。
- 黒木富美子 船坂在住28年。SC21副会長。船坂のことなら何でも知ってる情報通。新聞会計係
- 八濱 雅彦 船坂在住11年。カフェ・レストラン「アリス」のオーナー。店の合間に縫って編集。
- 鮫貝 季子 船坂在住15年。子ども会副会長。本読み聞かせ活動。船坂の発展を夢見てます。



なお、坂田芳郎さんが、残念ながらご高齢を理由に3月末で編集委員をやめられましたが、連載中の「有馬街道ぶらり探訪」は、引き続き執筆していただきます。（編集後記：鮫貝季子、池田壹和）

投稿
歓迎！

船坂公会堂一階入り口前のポストへ投稿してください